

対象国の条件：

研修コース番号：201984724-J002

案件番号：201984724

主分野課題：農業開発/流通・加工・輸出振興

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

我が国とりわけ沖縄は①生果実等のミバエ類寄生植物の消毒技術として蒸熱処理技術を確立し、②過去にミバエ類を根絶した実績を持ち、③ミバエ類根絶後も再侵入防止対策を実施していることによりミバエ類の生態、防除及び消毒技術に関して高い知見と技術を有している。本研修では、生果実の国際貿易への参加を図るミバエ類発生国の植物検疫技術者が、徹底した実習や講義を通じてミバエ類殺虫に係る知識と技能を習得する。

目標／成果	対象組織／人材	
<p>【案件目標】 ミバエ発生国の植物検疫技術者が、自国の条件下において適した検疫処理技術を習得する。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ミバエ類の飼育法及び殺虫試験に供試する寄生果実の作製方法を研修員が説明できる。 加熱処理及び低温処理による殺虫試験を実施し、一連の試験方法、データ解析方法を研修員が説明できる。 加熱処理及び低温処理による果実障害試験を実施し、一連の試験方法、データ解析方法を研修員が説明できる。 日本のミバエ類の根絶防除技術、輸入農産物の流通システム、日本及び研修参加国の植物検疫制度について有益な情報を収集し、これらを研修員が説明できる。 自国のミバエに関する植物検疫上の問題を研修員が説明できる。 	<p>【対象組織】 植物検疫機関</p> <p>【対象人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 職位：植物検疫処理（蒸熱処理等）に従事する者、植物防疫分野の検査官および行政官 経験：植物検疫の実務経験を有し、ミバエ類等の基礎的な昆虫学の知見を持つ者 学歴：大学卒業もしくは同等レベルの学力を有する者 語学力：発表やレポート記述に十分な英語力を有する者 	
<p>内 容</p> <p>以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ミバエ類の形態学と分類法、遺伝子分析、ミバエ類の生態学と飼育法、寄生果実作製 検疫殺虫処理技術、加熱処理・低温処理での殺虫試験 加熱処理・低温処理による果実障害試験、果実障害試験のデータ分析 日本の植物検疫制度、病虫害防除 研修員実習報告、ファイナルレポート作成、発表 	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/5/8～2019/6/7</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>農村開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA沖縄（市民参加）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>農林水産省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2017～2019</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>那覇植物防疫事務所、一般社団法人日本くん蒸技術協会</p>	
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>主たる研修協力機関として農林水産省那覇植物防疫事務所を想定。</p>	